

11. 会 議

11.1 経営協議会

技術の進歩、社会、産業界のニーズに応じた適切かつ効果的な事業計画の作成およびその執行をはかるため、学識経験者および産業界有識者等から所の経営について助言、提言を受ける経営協議会を以下の内容で開催した。

開 催 日

平成 17 年 3 月 4 日（金）

議 題

- 1) 平成 16 年度事業成果について
- 2) 平成 17 年度事業計画について
- 3) 産業技術研究所の運営形態について

委 員（五十音順）

伊藤 洵	社団法人東京都金属プレス工業会 専務理事
稲葉 豊	あいゆう税理士法人稲葉会計事務所 代表社員
太田公廣	独立行政法人産業技術総合研究所 産学官連携コーディネータ
太田守彦	東京ニットファッション工業組合 理事長
岡部義裕	東京商工会議所総務統括部 部長
勝村庸介	東京大学大学院工学系研究科 教授
管野吉信	日刊工業新聞社編集局中小企業部 部長
鞠谷雄士	東京工業大学大学院理工学研究科 教授
崎詰素之	社団法人日本システムハウス協会 副会長
島崎益男	社団法人東京工業団体連合会 常任理事
真鍋健一	東京都立大学大学院工学研究科 教授

11.2 放射線施設連絡協議会

駒沢庁舎（放射線利用施設）では、地元住民との連絡を密にし、施設の事業運営に対する理解と協力を求めるため放射線施設連絡協議会を設置している。本年度は 2 回開催し、アイソトープ・放射線に対する安全確保について協議した。

第 1 回放射線施設連絡協議会 平成 16 年 5 月 24 日（月）

第 2 回放射線施設連絡協議会 平成 16 年 11 月 8 日（月）

委員の構成は以下のとおりである。

世田谷区議会議員	平山 八郎、市川 康憲、稲垣 まさよし
地元代表	秋山 真太郎、植竹 房子、三田 松廣、三田 博
	金野 章、柏井 照雄、本田 次郎、間壁 一三
	村瀬 和美
学識経験者	青木 清（駒沢大学医療健康学部教授）
東京都職員	市原 博（産業労働局商工部長）
	井上 滉（産業技術研究所長）

11.3 外部評価委員会

研究事業を産業界や社会のニーズに対応させ、より効果的・効率的に推進するため、学識経験者および産業界有識者等の専門委員と公募による都民委員で構成される外部評価委員会を以下の内容で 2 回開催した。

外部評価委員会（事前評価）

平成 17 年度から実施予定の新規研究課題について、平成 16 年 6 月 8 日（火）の外部評価委員会で事

前評価を受けた。全 8 課題のうち、2 課題が(A)計画通り実施可、3 課題が(B)一部修正して計画通り実施可、3 課題が(C)修正して実施可 と評価された。

- | | |
|---|-------|
| 1 水及び土壌中の有害物質のスクリーニングと高感度簡易分析法の開発 | [評価C] |
| 2 クエン酸を使用した環境・機能対応型めっき液の開発 | [評価A] |
| 3 デザイン支援手法を活用した売れる製品づくり | [評価B] |
| 4 安全な社会基盤を実現する RFID ネットワークによるユビキタス環境の開発 | [評価B] |
| 5 光ルミネッセンス法による照射食品の検査技術の開発 | [評価A] |
| 6 蛋白質を合成するバイオ・ディスク基盤技術の開発 | [評価B] |
| 7 自律分散手法による視覚障害者移動支援システム技術の開発 | [評価C] |
| 8 VOC低減化塗装技術の開発 | [評価C] |

外部評価委員会（事後評価）

平成 15 年度に終了した研究課題について、平成 16 年 8 月 24 日(火)の外部評価委員会で事後評価を受けた。評価は (A)大変優れている、(B)優れている、(C)普通である、(D)劣っている の 4 段階評価で行い、例えば評価 A が 3 人、評価 B が 2 人、評価 C と評価 D がそれぞれ 1 人の場合、[A3B2C1D1]と表記した。

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1 工場排水中のふっ素除去方法の開発 | [A2B4] |
| 2 建築材料から放散される室内空気汚染物質の低減化 | [B2C3D1] |
| 3 金属繊維を活用した立体構造織物の開発 | [A2B4] |
| 4 光電測光式発光分光分析法を利用したマグネシウム合金分析法の開発 | [A2B3C1] |
| 5 簡易避難服の開発 | [B5C1] |
| 6 導電性繊維の被服への応用 | [B2C4] |
| 7 非晶質プラスチックのストレスクラック発生時間の予測方法の確立 | [B2C4] |
| 8 ゲート着磁方法によるプラスチック金型内高速樹脂流動の可視化技術の確立 | [A3B4] |
| 9 紫外放射測定技術の開発 | [B6C1] |
| 10 信頼性・安定性に優れたプラスチック吸収型ラドン測定装置の試作 | [A5B2] |
| 11 XLM を利用した企業組合の商品統合データベースの構築 | [B5C2] |
| 12 タッピンねじ用電動式トルクドライバの改良と締付け試験機の開発 | [B6C1] |
| 13 プロット型自動植毛装置の開発 | [A2B4C1] |

委員（五十音順）

- | | |
|------|------------------------------------|
| 浅田泰男 | 専門委員(日本大学理工学部 教授) |
| 伊藤晴夫 | 都民委員 |
| 岩崎一彦 | 専門委員(東京都立大学大学院工学研究科 教授) |
| 遠藤貞夫 | 専門委員(社団法人東京工業団体連合会 専務理事) |
| 太田公廣 | 専門委員(独立行政法人産業技術総合研究所 産学官連携コーディネータ) |
| 岡部義裕 | 専門委員(東京商工会議所総務統括部 部長) |
| 岡本雅夫 | 都民委員 |
| 片岡正俊 | 専門委員(長岡技術科学大学経営情報系 教授) |
| 勝村庸介 | 専門委員(東京大学大学院工学系研究科 教授) |
| 鞠谷雄士 | 専門委員(東京工業大学大学院理工学研究科 教授) |
| 倉林 肇 | 都民委員 |
| 竹中慎司 | 都民委員 |

柘植茂二 都民委員
 幕内宣文 都民委員
 宮木美光 都民委員
 三輪玄修 都民委員

11.4 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試験研究機関及び国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るため、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望等の議題で開催されている。産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表等の活動が行われている。

1) 東京都（産業技術研究所）主催または共催で行われた産業技術連携推進会議は、次のとおりである。

番号	会議名	開催年月日	出席機関 出席者数	担当課・室・グループ
1	産業技術連携推進会議 繊維部会 第1回幹事会	平成16年4月27日	25機関 28名	墨田分室
2	産業技術連携推進会議 繊維部会 アパレル生産技術分科会	平成16年 7月22日～23日	15機関 20名	生活科学グループ
3	産業技術連携推進会議 物質工学会 画像プロセス分科会	平成16年 12月2～3日	6機関 7名	製品科学グループ
4	産業技術連携推進会議 繊維部会 第3回幹事会	平成17年2月4日	24機関 26名	墨田分室

2) 産業技術連携推進会議の総会及び地方部会への出席は、次のとおりである。

番号	会議名	開催年月日	場所
1	繊維部会地域部会総会	平成16年4月22日～4月23日	茨城県
2	繊維部会総会	平成16年5月19日～5月20日	愛知県
3	物質工学会表面技術分科会	平成16年6月3日～6月4日	秋田県
4	第51回窯業部会	平成16年6月10日～6月11日	愛知県
5	情報・電子部会総会	平成16年6月17日～6月18日	滋賀県
6	物質工学会デザイン分科会	平成16年6月24日～6月25日	富山県
7	第3回産学官連携推進会議	平成16年6月19日～6月20日	京都府
8	機械・金属部会総会	平成16年7月1日～7月2日	京都府
9	物質工学会総会	平成16年7月8日～7月9日	岐阜県
10	繊維部会デザイン分科会研究連絡会議	平成16年7月14日～7月15日	沖縄県
11	機械・金属部会 平成16年度金型研究会総会	平成16年9月30日～10月1日	奈良県
12	繊維部会デザイン分科会研究連絡会議	平成16年10月12日～10月14日	福井県
13	物質工学会デザイン分科会 第11回研究発表会	平成16年10月14日	埼玉県
14	資源・エネルギー・環境部会	平成16年10月14日～10月15日	茨城県
15	物質工学会高分子分科会	平成16年10月14日～10月15日	高知県
16	物質工学会塗装工学分科会	平成16年10月13日～10月15日	宮崎県
17	窯業部会 関東地域東北・北海道地域合同部会	平成16年10月21日～10月22日	秋田県

18	知的基盤部会計測分科会	平成 16 年 10 月 27 日～10 月 29 日	長 崎 県
19	窯業部会 第 32 回セラミックス技術分科会	平成 16 年 11 月 11 日～11 月 12 日	愛 知 県
20	知的基盤部会分析分科会年会	平成 16 年 11 月 24 日～11 月 26 日	徳 島 県
21	第 5 回高機能材料デバイス研究分科会	平成 16 年 11 月 25 日～11 月 26 日	宮 城 県
22	情報・電子部会 第 5 回信頼性・評価技術研究分科会	平成 17 年 3 月 3 日～3 月 4 日	長 野 県

11.5 首都圏公設試連携推進会議

都県域の枠にとらわれずに広域的に地域中小企業を技術支援することを目的に、埼玉県、千葉県、神奈川県首都圏公設試等とともに、平成 14 年度から定期的に会議を開催し、連携の内容、具体化等について話し合っている。16 年度は下記のとおり開催した。

番号	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	H16. 5.20	東京都立産業技術研究所墨田庁舎	4 公設試（東京都立産業技術研究所、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術総合研究所） 関東経済産業局	16 名
2	H16. 8.20	東京都立産業技術研究所墨田庁舎	4 公設試、	13 名
3	H16.11.19	東京都立産業技術研究所墨田庁舎	4 公設試、 関東経済産業局	15 名
4	H17. 2.25	東京都立産業技術研究所墨田庁舎	4 公設試 関東経済産業局	14 名